

公明党春日部市議団 様

2026年度春日部市予算編成並びに  
施策に関する要望書

回 答 書



春日部市

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
<b>重点要望</b>				
1	春日部駅周辺連続立体交差事業に伴う駅周辺のまちづくりの推進	連続立体交差推進事業	「春日部市中心市街地まちづくり計画」に示した各取組の具体化、実施に向け、エリアプラットフォームを設置することにより、官民が連携して中心市街地のまちづくりに取り組んでまいります。	1,022,533
2	学校給食費無料化	学校給食費管理事務	小学生については、国の抜本的な負担軽減策（いわゆる給食無償化）の制度と合わせて必要な支援を実施してまいります。中学生においても、物価高騰支援や、部分的な無償化など可能な支援を検討し実施してまいります。また、引き続き完全な無償化に向けて要望してまいります。	9,701
3	避難所にもなる全ての公共施設へのエアコン設置	庁舎管理事務	避難所に指定されている谷中小記念館へのエアコン設置につきましては、築後50年以上経過していることから春日部市公共施設マネジメント基本計画に定める方針に基づき、今後の施設のあり方と併せて検討を進めてまいります。	—
		市民活動センター運営事業	市民活動センター（ぼぼら春日部）にはエアコン設置済みです	75,338
		高齢者福祉施設運営事業	避難所に指定されている高齢者福祉施設の中で複合施設を除いた避難所では、大池憩いの家及び薬師沼憩いの家が該当していますが、エアコンが設置されている施設です。	89,060
		—	保健センター、健康福祉センターにおいては、空調設備は整備されています。	—
		文化会館運営事業	現在、市民文化会館では、指定避難所になっているエントランスロビーを含め、空調設備が整備されています。	212,011
		体育施設運営事業	近年、夏場に限らず危険な暑さとなる日が増えていることから、熱中症対策の必要性は認識しており、屋内スポーツ施設への空調設備の設置について検討していきたいと考えております。	437,198
		公民館運営事業	内牧地区公民館及び幸松地区公民館に設置する体育室を除き、公民館の全館には既にエアコンを設置しています。体育室につきましては、今後設置を検討してまいります。	457,356
4	看護学校の早期建替	—	関係部署と協議、情報交換を行いながら様々な可能性について検討していきたいと考えております。	—
5	公共交通空白地域の高齢者へタクシークーポン券の配布	—	福祉施策全体として進めるには、既存の福祉サービスとの整合性や制度の目的、運用体制、財源の面からも慎重な検討が必要であると考えております。	—
6	冠水・浸水冠水対策	①治水対策事業 ②公共下水道事業（雨水） ③河川施設長寿命化修繕事業	春日部駅西口周辺の浸水被害の軽減を図るため、会之堀川第1幹線の整備工事を進めてまいります。その他の地域についても、「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」を踏まえ、貯留施設やポンプ等の整備効果を十分に検証し、浸水対策に取り組んでまいります。また、安定的な排水機能を発揮するため、市内ポンプ場の耐震化工事や排水施設の更新工事を進めてまいります。	①113,300 ②508,238 ③137,665

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
7	行政のDXの推進	デジタル推進事業	令和5年3月策定の春日部市デジタル・トランスフォーメーション推進計画に示されている内容を基に、DXの推進に取り組んでまいります。	23,829
8	健康寿命を延ばすための施策の充実	健康づくり推進事業	令和7年度から令和12年度までの6年間を計画期間とする「第2次いきいきライフプランかすかべ（春日部市健康づくり計画・食育推進計画・自殺対策計画）」を策定しました。「健康寿命の延伸」を目指して、市民、関係団体、事業者と連携を図りながら、各事業に取り組んでいきます。	7,369
9	市民も利用できる通年型学校プールの早期実現と拡充	—	八木崎小学校の敷地内に市内の小学校が共同利用できる温水プールを早期に整備し、学校プールの効率的利用を推進してまいります。また、学校教育に支障のない範囲で、市民利用の検討を進めてまいります。その上で拡充については、当該施設の運営状況等を検証し、その後の施設整備の必要性について検討してまいります。	—
10	交通安全・事故防止対策の充実	①交通安全施設設置・管理事業 ②街路灯設置・管理事業	交通安全確保のため、引き続き道路反射鏡、街路灯、交通安全施設の設置管理を行ってまいります。	①27,430 ②115,277
11	加齢性難聴者支援として補聴器購入費の補助対象者の拡充	高齢者在宅福祉サービス事業	聴力機能の低下により日常生活等に支障を来している高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用の一部を補助することにより、積極的な社会参加を支援するとともに認知症予防の一助とするため、令和7年7月より購入費に対する補助を新たに実施しております。	2,463
12	E R診療の推進等と市立医療センターの健全経営	病院運営事業	E R診療の推進等にあたっては、全体的に救急専門医が少ない状況を踏まえ、引き続き救急専門医の確保に努め、医療提供体制の充実を図ってまいります。 また、当センターの健全経営につきましては、医療提供体制の維持・充実を図りながら、令和6年に策定した経営強化プランに基づき、安定した病院運営に努めてまいります。	—
13	猛暑対策の充実	健康づくり推進事業	平時より熱中症の予防対策を周知啓発するとともに、環境省等が発表している暑さ指数や、熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートにより、熱中症の危険が高まることが予測される時は、予防行動がとれるよう注意情報を発信してまいります。また、熱中症予防施設として「まちのクールオアシス」「クーリングシェルター」を設置、周知を図ってまいります。	7,369 再掲

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
<b>II 分野別要望事項</b>				
1	子育て支援策の強化充実を求めます。			
①	児童虐待防止対策のさらなる拡充	こども家庭センター相談事業	こども家庭センターが中心となり、児童相談所や警察、保育所、学校、医療機関などの関係機関と連携を密にし、虐待の恐れがある子どもや家庭の情報を共有しながら、児童虐待の未然防止に努めてまいります。	10,888
②	0才児から3才児未満の通年に亘る待機児童を「ゼロ」に	①保育所運営委託事業 ②施設型・地域型保育給付事業 ③子育てのための施設等利用給付負担金	私立幼稚園の認定こども園への移行支援や小規模保育施設の併設の提案、また既存保育施設においては、定員の弾力運用を取り入れるなど、利用定員の増員に取り組んでおります。また、保育・教育の利用希望者に対しては、入所申請の電子化による手続きの簡素化を推進すると共に、保育コンシェルジュによる相談及び必要な情報の提供などきめ細かな対応を行い、待機児童の解消に努めてまいります。	①2,301,624 ②1,867,622 ③455,125
③	地区別児童館の設置	—	新たな施設を整備するのではなく、既存の公共施設などの有効活用を図り、国が定める児童館ガイドラインにおける、地域の健全育成の環境づくりの一つである、児童館職員が児童館のない地域へ出向き、地域の子どもたちに、児童館で行う遊びや文化的活動等の体験機会を提供する「移動児童館」を指定管理者と連携しながら実施しております。	—
④	出産祝い品の見直しと拡充	—	出産祝い品の拡充につきましては、必要性も含め、研究してまいります。	—
⑤	キッズゾーン導入	保育総務事務	子どもたちの安全を確保するため、令和3年度から、保育施設周辺に看板の設置を進めております。今後も関係部署と設置箇所等について協議を行い、順次導入してまいります。	10,675
⑥	放課後児童クラブの整備拡充と支援員の配置支援	放課後児童健全育成事業	施設の整備については、教育委員会や学校との連携・協議を進め、児童数の動向や推移などの保育ニーズを勘案し、既存施設の有効活用を第一に考えて検討してまいります。 また、支援員の配置につきましては、入室児童数やクラブの状況を踏まえ、適正な配置に努めてまいります。	605,987
⑦	子育てを支えあうパパネットワークの形成	児童館運営事業	児童センターにおいて、定期的にパパを対象とした事業を実施しており、パパ同士の交流を図るものとなっております。 今後も指定管理者と協力のうえ、児童館が、パパを含む保護者同士のコミュニティの充実が図られる場となるよう努めてまいります。	225,458
⑧	子どもの居場所づくりと元教員等による見守り体制の構築	—	これまで実施してきました、各市民センターにおけるこども・若者の居場所や市役所本庁舎「まちのリビング」の学習スペースとしての開放、武里ユースセンター「たけたけ」、出張移動児童館等の事業に引き続き取り組んでいくとともに、地域・産学官等が連携しながら、全てのこども・若者が安全に安心して過ごせる居場所のさらなる充実に取り組んでまいります。取組を進めるにあたって、多様な主体との連携を図る中で、元教育職員などを含め、地域の方々と連携していくといった方向性も考えられるものと認識をしております。	—

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
2	障がい児・者施策の充実を求めます。			
①	重度障がい児・者へのショートステイ事業の推進	—	市内には、現在10か所の短期入所（ショートステイ）施設が整備されており、重度の障がいがある方の受け入れにつきましても、可能な限りの受け入れをお願いしております。 市内での対応が難しいケースにつきましては、各ケースワーカーが市内の相談支援事業所等と連携し、受け入れが可能な施設への入所を調整しているところでございます。 今後におきましても、グループホーム等の障害福祉施設整備の相談があった場合には、短期入所（ショートステイ）施設の併設などを働きかけてまいります。	—
②	就労支援の拡充	障害者就労支援センター運営事業	障がい者の就労機会の拡大を図るため、障がい者及びその家族の意向に応じて就労相談、就職準備、職場開拓、職場実習、職場定着を支援する障害者就労支援センターを運営するものです。 春日部市障害者就労支援センターでは、ハローワークなど関係機関との連携を図るとともに、事業所からの相談にも応じています。 運営の充実を図るため、令和4年度からは常勤の相談員を1名配置から2名配置とし、さらなる相談支援等の充実に努めております。	16,473
③	障がい者配慮・手話言語・情報・コミュニケーション条例の制定	—	手話を身近なものと感じていただけるように手話講習会を開催しているとともに、「広報かすかべ」を活用して、手話は言語であることを周知するなど、手話の普及啓発に努めています。 今後も手話への関心を高め、手話を知りたい、学びたいといった機運を醸成していくための方策について、自立支援協議会を含め、関係団体と議論を深めていきたいと考えております。	—
④	児童発達支援サービスの拡充	ふじ学園運営事業	多様な障がいのある児童に対し、日常生活に必要な知識・技能を習得させるため、児童の性質及び能力に応じた生活指導を行う「ふじ学園」を指定管理者により管理運営するものです。 令和8年度につきましては、児童発達支援センター機能の強化を行い、本市の中核的な療育支援施設として一層の充実を図ってまいります。	313,534
⑤	リサイクル支援センター移動に伴う通勤支援と施設の充実	心身障害者通所支援施設整備事業	市と指定管理者において移転後の施設設備や送迎サービスを含めた、質の高い福祉サービスの提供に向け協議を進めつつ、必要な準備を行ってまいります。	496,209
⑥	視覚障がい者支援として家族への配慮講習	—	視覚障害に対する専門的な知識と技術、経験を有し、視覚障害に特化したNPO法人などの支援団体や関係機関と連携を図ってまいります。	—
⑦	共生型サービス（重層型支援）の推進	—	共生型サービスは、高齢の方も障がいのある方も同じ事業所でサービスを受けやすくするために2018年に創設されました。本市においても多くの事業所に登録をいただいております。障がいのある方のヘルパー派遣を介護保険事業所をお願いしているところでございます。今後も、新規開設事業所からの相談を受けた際には、積極的に啓発して参ります。	—
⑧	各地区1箇所以上のユニバーサルシートの設置	—	社会に存在するバリアを取り除き、誰もが快適かつ安心して利用できる生活環境を目指し、ユニバーサルシート設置への啓発を図って参ります。	—
⑨	医療的ケア児の教育現場における支援の充実	学校教育支援事業	医療的ケア児が、安心して教育活動が行えるよう支援するため、必要に応じて看護師の配置に努めてまいります。	371,081

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
3	高齢者施策の充実を求めます。			
①	地域包括支援センターの人員の拡充	地域包括支援センター運営事業	地域包括支援センターの設置等については、国の基準をもとに整備し、充実に努めてまいります。	228,050
②	高齢者ドライバーの運転免許返納制度の支援充実	—	埼玉県警が平成20年度から運転免許自主返納制度を実施しており、自主的に運転免許証を返納した場合、特典を受けられる事業所の協賛を求めています。市としても制度の周知や協力事業者への働きかけを行ってまいります。	—
③	A I関連支援含むデジタル支援員の配置とスマホ教室の充実	デジタル推進事業	パソコンやスマートフォンに不慣れな方への支援は、各事業の担当課が責任を持って丁寧に応じるのはもちろんのこと、主に高齢の方で、スマートフォンに不慣れな方向けの講座を充実させてまいります。今後の国の「デジタル格差」解消に向けた動向も注視しながら、きめ細やかな支援を行ってまいります。	23,829 再掲
④	携帯版緊急通報システムの導入	—	令和4年度に県内他市の携帯型の導入状況を調べたところ、県内40市中で導入している市は8市と少ないため、高齢者にとっての需要は多くなく、操作が難しい等の課題もございますので、導入は考えていないところです。今後は設置場所、充電、操作方法などの課題が少ない機器の他市での導入状況を注視し、引き続き、利用者にとって、より利便性の高い事業となるよう研究を重ねてまいります。	—
⑤	介護予防事業の充実	①介護予防普及啓発事業 ②住民主体型介護予防事業 ③地域リハビリテーション活動支援事業	健康脳トレ塾や講演会の開催により、介護予防の普及啓発を進めるとともに、専門職の派遣や補助金の交付により住民主体の取り組みを支援することで介護予防事業の充実を図ってまいります。	①2,618 ②1,069 ③2,157
⑥	認知症ケア体制の充実	①認知症総合支援事業 ②認知症サポーター等養成事業	認知症サポーター養成講座の開催により認知症への正しい理解の普及を図ると共に、認知症疾患医療センターや地域包括支援センター、地域の関係団体等と連携を図り、認知症の方や家族への相談支援及びチームオレンジの立ち上げによる共生の地域づくり等、「新しい認知症観」に基づく認知症施策を推進してまいります。	①13,777 ②423
⑦	難聴予防の早期発見と早期介入	—	難聴は生活や社会参加の範囲を狭めるなど高齢期の生活に及ぼす影響が大きいため、社会全体で難聴への理解を深め、早期発見等の重要性についての普及啓発の重要性は認識しております。	—
⑧	補聴器購入費の補助制度の拡充	高齢者在宅福祉サービス事業	聴力機能の低下により日常生活等に支障を来している高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用の一部を補助することにより、積極的な社会参加を支援するとともに認知症予防の一助とするため、令和7年7月より購入費に対する補助を新たに実施しております。	2,463 再掲
⑨	eスポーツによる三世代交流の充実	—	埼玉県の取組や導入している自治体の情報を収集し、いきいきクラブ連合会やeスポーツになじみのある若い世代の方々からの意見もいただきながら、高齢者を対象としたeスポーツの普及について研究してまいります。	—

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
4	防災対策の拡充を求めます。			
①	消防職員・女性消防吏員の増員と安全対策の強化	常備消防事務	消防職員の増員につきましては、効率的な職員配置に配慮するとともに、人事部局と協議の上、計画的な職員確保に努めてまいります。あわせて、女性消防吏員の活躍推進に取り組み、採用試験における女性受験者の増加につながるよう努めてまいります。 安全対策につきましては、計画的に消防学校等の研修へ職員を派遣し、習得した専門的知識や技術を職員間で共有することにより、体制の強化を図ってまいります。	101,940
②	防災会議及び災害対策本部に女性委員の更なる拡充	—	女性委員の比率向上に向けて、委員の推薦にあたり関係機関に対し働きかけてまいります。	—
③	女性防災リーダーの育成	防災体制強化事業	女性の視点から防災を考える取り組みとして、女性防災士による視点を生かした災害時の対応を学ぶ講義や、女性防災士の積極的な養成を進めております。現在は、女性の訓練参加者や防災士取得者が着実に増え、地域の防災リーダーとして活躍されております。 今後もこうした活動を継続し、女性防災リーダーの育成に努めてまいります。	12,507
④	内水対策として貯留施設の増設・排水ポンプ設備の増強	①公共下水道事業（雨水） ②治水対策事業	雨水貯留施設については、今年度、谷原第1公園において、貯留施設の整備を実施しております。 その他の地域についても、「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」を踏まえ、貯留施設やポンプ等の整備効果を十分に検証し、浸水対策に取り組んでまいります。	①508,238 再掲 ②113,300 再掲
⑤	雨水下水道の整備促進	①公共下水道事業（雨水）	春日部駅西口周辺の浸水被害の軽減を図るため、会之堀川第1幹線の整備工事を進めてまいります。	①508,238 再掲
⑥	上下水道の耐震化	総合地震対策（下水道） 上下水道耐震化計画	総合地震対策は、引き続き、大規模な地震により液状化の可能性がある区域のうち、緊急輸送道路下にある下水道管のマンホール浮上防止対策などの地震対策、 上下水道耐震化計画の下水道は、春日部市地域防災計画に位置付けられている病院や避難所等の重要施設から流域下水道接続までの管路について耐震化施策を実施してまいります。	214,880
		配水管耐震化事業	病院や避難所等の重要給水施設に向けた配水管や住宅街の老朽管、国道などの緊急輸送道路に埋設されている铸铁管を対象に、耐震化（管の更新）を計画的に進めてまいります。	1,458,000
		浄水場施設改良事業	浄水場施設の更新や配水池の耐震化につきましては、アセットマネジメント計画に基づき、重要度や優先度を考慮し、計画的に事業を進めております。 令和8年度は引き続き西部浄水場受変電設備更新工事を実施してまいります。	849,400
⑦	災害ハザードマップの普及啓発	防災体制強化事業	現行の災害ハザードマップは令和3年3月に策定し、策定後に全戸配布を行った他、各地区自主防災訓練や防災啓発イベントなどで配布やマイタイムライン作成などの活用を図ってまいりました。今後もこうした機会を捉えて、継続的な普及啓発に努めてまいります。	12,507 再掲

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
⑧	トイレカー・トイレトレーラーの増設	防災体制強化事業	令和7年度に、「緊急防災・減災事業債」を活用しトイレカーを導入しており、今後についてはその効果や運用面の課題等について、見極めてまいります。トイレ環境の整備については、引き続き簡易トイレ処理セットを計画的に購入してまいります。	12,507 再掲
⑨	幹線道路の無電柱化の推進	—	令和6年度に、道路法第37条に基づき埼玉県緊急輸送道路に指定されている路線について占用制限の指定を行いました。今後も、無電柱化の推進に関する法律に基づく国・県の施策動向を注視してまいります。	—
⑩	防災公園設置	(新)中央町第1公園整備事業	旧庁舎解体後の跡地に新たに設置する、(新)中央町第1公園を災害時対応公園として計画しております。	33,710
⑪	移動ポンプ車の導入	—	移動ポンプ車の導入については、他市の動向を調査研究し、判断してまいります。 大規模自然災害時、当市に甚大な被害が発生した場合は、埼玉県を通じて自衛隊や国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」などの派遣を要請することとなります。これらの派遣隊において、移動ポンプ車についても派遣がなされるものと考えております。大規模災害から迅速な復旧、復興が図られるよう、今後も関係機関と連携し、災害対策に努めてまいります。	—
⑫	地域防災力強化の為に市民センターとの防災連携強化	防災体制強化事業	昨年度情報提供を行った市民センター向けの避難所開設訓練マニュアルを参考に各センターにおいて訓練を実施する際、危機管理防災課からも必要に応じて職員派遣を行うなどの連携を図っています。 今後も同様に、市民センターが実施する防災訓練のサポートや連携強化に努めてまいります。	12,507 再掲
⑬	命を共に守るペット同行避難訓練の推進	防災体制強化事業	地域の自主防災訓練の打合せを行う際に、ペット同行避難訓練の実施を働きかけてきた結果、令和7年12月から令和8年2月にかけて自主防災組織の協力により、避難所開設運営訓練の一環としてペット同行避難訓練を実施することとなりました。今後もこうした取組を継続し、ペットの災害対策について機会を捉えて啓発に努めてまいります。	12,507 再掲
⑭	ドローンを活用した情報収集	—	災害時のドローンの活用に関しては、これまでに3者と災害時応援協定などを締結し、被害情報の収集や要救助者の発見などに活用できる体制を整えています。また、実際にこのうち1者の事業者と消防本部とが合同で、古利根川河川敷を会場として救助者発見訓練を実施しております。今後もこうした訓練を継続的に実施できるよう、事業者や消防本部などと連携を図ってまいります。	—

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
5	安心して暮らせる街作りを求めます。			
①	ボランティア・健康等のポイント制度の導入	健康づくり推進事業	令和6年度から歩数アプリ「コバトンALK00マイレージ」に参加しています。歩数に応じて、マイレージポイントが貯まり、ポイントに応じて自動抽選で賞品が当たるものです。そのほか、市独自でイベントを実施します。月平均歩数が、一定歩数以上になった市民に賞品が自動抽選で当たるイベントと市民が対象の健（検）診や健康に関する講座や教室などへの参加、自身の健康づくりにチャレンジをしてスタンプを集めると抽選で賞品が当たるイベントです。	7,369 再掲
		介護支援ボランティアポイント事業	高齢者が介護保険施設等でボランティア活動を行うことで、社会参加や地域貢献をととして自身の健康増進や介護予防につながり、いつまでもいきいきとした生活が送れるよう支援することを目的として、ボランティアポイント制度を実施しています。引き続き、制度の周知を図り、ボランティア活動への参加促進を図ってまいります。	4,404
②	特殊車両を用いた路面下空洞化調査の継続実施	—	令和6年度に緊急輸送道路などの路面下空洞調査を実施いたしました。今後も定期的に調査を継続実施してまいります。	—
③	火災・災害基金の設置	—	被災者支援のための資金援助は、災害救助法等の規定で都道府県が対応することとしています。特に埼玉県は災害基金条例は、他県と比べ対象の範囲が広がっています。R7年から福祉総務課では、日赤の地区・分区交付金を活用し「火災等発生時における宿泊施設の提供等に関する協定」を締結し、火災発生後の一時避難場所として居住支援をはじめとしています。今後も国や県の動向を注視していきます。	—
④	防災対策の強化	防災体制強化事業	今後も、ハザードマップや防災DVD、地震体験車などを活用した防災啓発の実施や、自主防災組織や災害時応援協定を締結している事業者などとの連携体制の構築などにより、防災対策の強化を図ってまいります。	12,507 再掲
⑤	防犯カメラの増設（公共施設・公園・通学路など）	防犯暴力対策事業	街頭防犯カメラについては、令和9年度までに市内の小学校及び義務教育学校23校の通学路に各校1台ずつ合計23台増設してまいります。	22,249
⑥	防犯灯・街路灯・カーブミラーの設置基準の見直しと拡充	①交通安全施設設置・管理事業 ②街路灯設置・管理事業	街路灯・カーブミラーは設置基準に基づき、現地調査をしたうえで判断しております。なお、街路灯の設置基準については、令和5年5月に見直しを図りました。また、防犯灯については、一戸一灯運動を呼びかけ、自主防犯の啓発に取り組みます。	①27,430 再掲 ②115,277 再掲
⑦	熱中症対策の強化および猛暑対策として屋根付き公園の設置	健康づくり推進事業	平時より熱中症の予防対策を周知啓発するとともに、環境省等が発表している暑さ指数や、熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートにより、熱中症の危険が高まることが予測される時は、予防行動がとれるよう注意情報を発信してまいります。また、熱中症予防施設として「まちのクールオアシス」「クーリングシェルター」を設置、周知を図ってまいります。	7,369 再掲
		(新) 中央町第1公園整備事業	夏の炎天下における直射日光を避ける対策が必要であることから、屋根を有するあずまやなどの休憩施設のほか、日陰のもとで、子ども達が安心安全に公園を利用できる屋根付き広場の設置も検討してまいります。	33,710 再掲

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
	⑧ 歩道の安全対策の強化	交通安全施設設置・管理 事業	道路管理者と協議の上、必要な箇所へ注意看板等の設置してまいります。	27,430 再掲
		①通学路安全対策・バリア フリー化事業 ②道路整備事業	通学路として指定されている路線や交通量の多い路線で安全対策が必要な箇所については、歩道の幅員を確保するために水路の蓋掛けを行っております。また、既存の道路幅員の範囲内において、運転者へ視覚的に注意喚起を促すためのラインの塗布や、ラバーボールの設置を実施するなど、歩行空間の確保に努めてまいります。	①103,750 ②110,028
	⑨ 青色回転灯車の増車と活用	防犯暴力対策事業	青色回転灯車の増車については非常に重要と認識していますが、まずは、職員による青色回転灯車防犯パトロール活動を活発にし、既存の青色回転灯車を有効活用してまいります。	22,249 再掲
	⑩ バリアフリー対策強化	通学路安全対策・バリア フリー化事業	春日部駅周辺の道路を中心としたバリアフリー化を引き続き進めてまいります。	103,750 再掲
	⑪ ドクターカーの導入	—	ドクターカーの導入につきましては、搭乗する医師や看護師の確保をはじめとした、医療関係との協力が不可欠であり、消防本部としての導入には課題が多いと考えます。今後は、国や県での導入状況等を注視して見極めて参ります。	—
	⑫ 地域交通の再構築（トウクトウク・ カートカー等の活用）	コミュニティバス運行事 業	令和6年1月から、庄和地域の交通空白地に住む高齢者等を対象に、タクシー補助制度の実証実験を行っています。実証実験の結果を検証するとともに、持続可能な公共交通を実現するため、地域の実情に応じた移動手段について、地域の方々のご意見やご協力もいただきながら、地域公共交通活性化協議会及び庁内において協議を行い、より良い施策を検討してまいります。	65,573

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
6	健康増進策の強化・充実を求めます。			
①	オンライン診療の体制強化	—	オンライン診療の体制強化に向けた医療機関への支援や情報提供は、県において取り組んでいることから、今後の動向を注視していきます。	—
②	人間ドックと脳ドック検診の助成制度の実施	特定健康診査等事業	特定健康診査では、市独自の検査項目を追加して実施しており、各種がん検診と同時受診により人間ドック相当の内容となっております。	210,493
③	特定基本検診の土日祝日夜間検診の拡充	特定健康診査等事業	特定健康診査の実施体制については、委託先である春日部市医師会と協議の上決定しており、医療機関の受入体制が可能な曜日や時間帯で、夜間の健診を行っている医療機関もあると伺っております。	210,493 再掲
④	健康診断結果の活用	いきいきシニアライフ応援事業	後期高齢者を対象とした事業の実施にあたり、地域の高齢者の健康課題を分析するための基礎資料として健康診査結果を活用しています。また、健康診査結果から個別保健指導の対象者を抽出し、フレイル予防のための取組みの勧奨をし、希望者に対し個別保健指導を実施しています。今後も高齢者の心身の多様な課題に対しきめ細かな支援を実施してまいります。	5,558
⑤	電子版母（父）子健康手帳の導入	こども家庭センター母子保健事業	電子母子健康手帳は、紙の母子健康手帳を補完するものとして、有用であると認識しており、現在、先行して電子母子手帳を導入した自治体への視察を予定しております。これまで蓄積されたデータ等との連携を検討しながら、電子母子健康手帳アプリの導入について検討してまいります。	29,600
⑥	フレイル事業の拡充	フレイルチェック事業	フレイルの気づきを促すことを目的に、市民ボランティアであるフレイルサポーターによるフレイルチェック測定会等を実施しています。令和6年度から引き続き、市内全域での事業の拡大に努めてまいります。	7,320
⑦	リハビリの出来る健康公園の設置	(新) 中央町第1公園整備事業	地域の皆様が安全に運動やリハビリに取り組める場の充実は、健康増進や介護予防の観点から必要であることから、健康遊具の設置も検討してまいります。	33,710 再掲
⑧	がん対策の推進	がん検診推進事業	がん検診の受診率向上のため、特定の年齢の者に対して、受診勧奨通知を送付するとともに、精密検査未受診者に対しては、受診勧奨などにより医療機関への受診を促すなど、がんによる死亡率の減少に向け取り組んでまいります。	9,897
⑨	データヘルス計画による糖尿病重症化予防の推進	糖尿病性腎症重症化予防事業	国保加入者に対しては、埼玉県国民健康保険団体連合会と共同事業として、未受診者及び治療中断者への受診勧奨、通院患者への保健指導、保健指導実施後の継続支援を行っています。	10,755
⑩	ウェアラブル端末を活用した健康管理	—	ウェアラブル機器によりバイタルデータを取得することで、健康分野だけでなく、介護分野など様々な分野にも活用することが期待できることから、技術的な課題のほか、費用対効果等を含め、調査研究してまいります。	—

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.		要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
	⑪	自殺予防対策としての心と自律神経の健康支援	健康づくり推進事業	こころの健康と身体の状態は相互に関係することから、令和7年3月策定の自殺対策計画では、こころの不調に伴う心身の疾患への正しい理解や適切な対応についての啓発を取り組み項目の一つとしています。こころの健康づくりのための相談やメンタルヘルスに関する普及啓発、適切な支援につながるよう関係機関との連携に努めてまいります。	7,369 再掲
	⑫	SNSを活用したユースクリニックの開催	健康づくり推進事業	こころの健康と身体の状態は相互に関係することから、令和7年3月策定の自殺対策計画では、こころの不調に伴う心身の疾患への正しい理解や適切な対応についての啓発を取り組み項目の一つとしています。こころの健康づくりのための相談やメンタルヘルスに関する普及啓発、適切な支援につながるよう関係機関との連携に努めてまいります。	7,369 再掲
			—	特に思春期は、心と体に変化する時期で、戸惑いが生じやすい時期であるため、SNSを活用したユースクリニックの開設については、国、県、他自治体の動向を注視してまいります。	—

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
7	教育・環境施策の拡充を求めます。			
①	プレコンセプションケアの充実	こども家庭センター母子保健事業	こども家庭センターに常駐する助産師や家庭児童相談員が、「妊娠」、「出産」、「妊娠前から気をつけたい健康管理」など、思春期からの男女の性や健康に関する正しい知識を身につける相談に応じており、市公式ホームページにプレコンセプションケアについての情報を掲載してまいります。	29,600 再掲
②	学校図書館に学校司書の常駐配置	①小学校図書館整備事業 ②中学校図書館整備事業	平成26年度から小学校に学校図書館支援員（学校司書）を6名配置しております。また、平成29年度からは中学校に社会教育部の司書職員を派遣するとともに、小学校に配置している学校図書館支援員を支援しております。引き続き、学校図書館支援員として必要な知識の取得や、支援員間の情報共有を図るとともに、適正な配置に努めてまいります。 なお、令和8年度より学校図書館支援員につきましては、学校司書に名称変更する予定です。	①24,688 ②5,685
③	学校支援員の全校配置	スクール・サポート・スタッフ配置事業	令和7年度から、市内全34校へスクールサポートスタッフを配置することができました。全校配置の継続、配置人数の拡充に向けて、引き続き検討を重ねてまいります。	54,101
④	不登校対策の充実	教育相談センター運営事業	各学校において、不登校児童生徒の支援に際しては、「登校」という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指すことが必要であり、一人一人の状況に応じた支援が行えるよう、学校と家庭が連携しながら、様々な学びの場や機会を提供していくことが重要であると考えております。市内には適応指導教室2か所、登校支援指導教室を1か所設置し、児童生徒の居場所づくり、学びの場の提供を行っております。また、関係機関との連携強化にも努めております。今後も、不登校の未然防止、早期発見・対応、長期化への対応等、児童生徒を支援できるよう努めてまいります。	12,236
⑤	オアシスルームの小学校全校配置	学校教育支援事業	モデル校として設定した3校に相談員を配置できるよう要望をしております。また、モデル校の状況を検証し、今後の拡充について、設置校を増やせるよう検討してまいります。	371,081 再掲
⑥	不登校対策にもなるオンライン授業	—	現在、小中学生には、学習者用端末が、一人一台配置されているため、オンラインによる授業を受けることが可能でございます。	—
⑦	スクールソーシャルワーカーの増員	こころのサポート推進事業	令和7年度も、教育相談センターに県費によるスクール・ソーシャル・ワーカーを2名配置し、昨年度同様、のべ1500時間勤務をしています。今後も、配置の拡充を県に要望してまいります。	3,000
⑧	小学校のALT等の体制整備と低学年からの英語教育の実施	英語指導助手招致事業	外国語を用いたコミュニケーションができ、グローバルに活躍する人材の育成を目指して、基礎的・実践的コミュニケーション能力の育成を重視した授業展開ができるよう、日本の小学校英語教育に理解のあるALTの体制整備の充実に努めてまいります。低学年の英語教育については、学習指導要領上の位置づけがないため、各校が朝の活動等を活用して、英語に親しむ活動を行っております。	63,798
⑨	地域の人材を活用した春日部版部活動の充実	—	現在、市内の中・義務教育学校の部活動において、部活動指導員や外部指導者、ボランティアとして地域の人材を活用し、子供たちの活動を充実させています。今後は、部活動のあり方について、国や県の方針等をもとに関係各課と連携し、検討会等を行ってまいります。	—

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
⑩	ヤングケアラー支援の推進	—	「春日部市こども・若者計画」においてヤングケアラーへの支援の方向性を掲げております。ヤングケアラー自身が当事者であることに気づくこと、関係機関や周囲の大人がヤングケアラーの認識を深めることが重要であることから、ヤングケアラーの理解と啓発を広く実施していくとともに、課題を抱える家庭に関わる機関の連携を図り、具体的な支援事業へつなげる仕組みを創設してまいります。 ヤングケアラー啓発と関係機関の連携については、10課にて進めており、担当課ごとに、ホームページや広報かすかべで当事者への気づきを促すための啓発を行っております。引き続き、ホームページや広報かすかべなど、様々なツールによりヤングケアラーの啓発、支援策の周知を行ってまいります。 なお、取組状況について、毎年度、こども・子育て支援審議会に報告し、評価を受け、次年度に生かしていくこととしております。	—
		子育て世帯訪問支援事業	ヤングケアラーがいる家庭を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、食事の準備や洗濯、掃除などを行う家事支援や、授乳、おむつ交換などの育児支援を行う子育て世帯訪問支援事業を令和6年12月から開始しております。	1,521
⑪	学校トイレに生理用品の配置	—	各学校では、生理用品を適切に保管し、必要に応じて児童生徒に配布をしております。また、トレイに生理用品を置き、必要な時に使えるようにしている学校もあります。今後も、衛生面、指導面等を配慮し、研究してまいります。	—
⑫	生命（いのち）安全教育の推進	—	令和7年度は、医師を講師とし、実践授業を実施予定です。今後も、児童生徒はもちろん、保護者や地域の方への啓発を含め、生命の安全教育を推進してまいります。	—
⑬	奨学金返還支援制度の導入	入学準備金・奨学金貸付事業	本市の奨学金貸付制度は、貸付を受けた方からの返済金を原資として運用していることから、奨学金返還支援制度を実施するためには、運用財源を新たに確保する必要があります。 奨学金返還支援制度については、実施している他自治体の状況等を踏まえ、引き続き研究していきたいと考えております。	4,100
⑭	こどもの健康を守るローラー型脊柱側弯症測定器の導入	—	現時点では、これまでの検査方法により、健康診断を行ってまいりたいと考えております。	—
⑮	公共施設にミストシャワーの設置	—	ミストシャワーは、夏の暑さを緩和する有効な方法の一つであると認識しております。夏の暑い日の屋外イベント時では、参加者の暑さ対策にもなることから、ミストシャワーの設置について各施設に働きかけてまいります。	—
⑯	EVなど次世代自動車の導入拡充	公用車管理事務	公用車エコ化プロジェクトを平成30年度に立ち上げ、環境負荷の少ない車両への転換を進めており、特種車両などを除いた車両を対象として公用車の総量を削減していくこと、更新の際は費用の平準化や管理事務の軽減の観点からリース方式とし、原則としてハイブリッド車以上の次世代自動車とすること、さらにこのうち約2割をEV自動車とすることを目標としております。 また、EV自動車の円滑な運用のため、各施設の新設、建て替え、大規模改修の際には、普通充電設備を確保していく方針としております。	47,433
⑰	ゼロカーボン社会の取組強化	地域脱炭素移行・再エネ推進事業	国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用し、公共施設、個人住宅、事業場への太陽光発電設備の導入等、地域脱炭素の取組を進めていきます。また、令和8年度からは個人住宅向けの太陽光発電設備の共同購入事業や事業者の再エネ電力調達の促進に新たに取り組んでまいります。	195,556

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
8	市民サービスの向上を求めます。			
①	内谷陸橋付近にエレベーターを設置して回遊性のある街に	—	現在、春日部駅付近連続立体交差事業が進められております。内谷陸橋付近のエレベーター設置については、事業効果や春日部駅付近連続立体交差事業の進捗などを勘案し、必要性について検討してまいります。	—
②	公園リニューアル事業の予算拡充（対象公園数の増設）	公園施設更新事業	公園施設の再編や長寿命化などの事業とバランスを図りながら、遊具の更新など、公園のリニューアルを進めてまいります。	66,500
③	一ノ割駅舎の橋上化及び周辺整備の推進	交通拠点整備事業	駅周辺のまちづくりは、地権者、地域住民及び鉄道事業者などのご理解ご協力が必要になります。その整備に対する課題について関係者の方々と共通認識を図るとともに他事業の進捗状況や駅周辺の社会環境の変化を見極めながら検討をしていきます。	1,072
④	春日部市民文化会館の旧レストランの活用	文化会館運営事業	旧レストランは現在、修繕や施設維持管理に必要な資材の管理及び軽微な修理の作業場として利用しています。今後は、施設改修等に伴い、利用者の利便性の向上につながる施設整備に努めてまいります。	—
⑤	上下水道料金支払いのクレジット対応	—	現在、水道料金および下水道使用料につきましては、口座振替や金融機関などでの窓口納付をはじめ、コンビニエンスストアでの納付、スマートフォン決済など様々な支払い方法を導入しております。その上で、クレジット決済の導入は、手数料が他の支払い方法に比べ高額である等の課題があると認識しております。このため、他自治体の導入状況や費用対効果等さまざまな観点から研究し、その必要性について見極めてまいります。	—
⑥	ドッグランの常設	—	飼い主の方が愛犬と触れ合うことができる環境があることは、望ましいことですが、ドッグランの設置には、近隣住民の理解がなければ設置は難しいと考えています。引き続き、ドッグランに対するニーズや用地の確保などについて精査を行い、検討を継続してまいります。	—
⑦	免許返納者へのサービス拡充	—	埼玉県警が平成20年度から運転免許自主返納制度を実施しており、自主的に運転免許証を返納した場合、特典を受けられる事業所の協賛を求めています。市としても制度の周知や協力事業者への働きかけを行ってまいります。	—
⑧	特定小型原動機付自転車の購入補助	—	県内市の補助制度利用状況、市内の特定小型原動機付自転車利用状況を踏まえ、購入補助の必要性を見極めてまいります。	—
⑨	駅前に期日前投票所の開設・移動型期日前投票所の開設	—	駅前で期日前投票所につきましては、春日部駅付近連続立体交差事業等について関係部署と情報共有を行い、開設に向けて検討していきたいと考えております。 また、移動型期日前投票所については、二重投票の防止のため、安定した通信環境の確保が必要であることから、現状では難しいものと考えております	—
⑩	公共施設にユニバーサルシートの増設	—	ユニバーサルシートの必要性などにつきましては、公共施設開設や改築等の機会を捉えて、施設管理者へお伝えしてまいります。 なお、令和8年1月末にあしすと春日部で改修工事を行いユニバーサルシートを設置予定です。	—
⑪	地区センターの活用	地区センター運営事業	地区センターとして、地域まちづくりの拠点として活用することで、「地域コミュニティの活性化」及び「市民の利便性向上」を図ってまいります。また、地域づくり推進協議会において皆様のご意見を伺いながら、各地域の課題や実情に応じた地区センター機能の更なる拡充に努めてまいります。	14,486

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
⑫	仮称・中央町第1公園整備	(新)中央町第1公園整備事業	中心市街地に整備される新たな公園として若い人等が集い、出会いや交流が生まれる魅力ある公園整備を目指し、だれもが集える公園としてユニバーサルデザインを取り入れるなど安心安全な空間を創出してまいります。	33,710 再掲
⑬	生活困窮者の自立支援の強化	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者が抱える課題の多様化を的確に把握し、就労意欲の喚起を図りながら、就労支援の一層の充実・強化に取り組んでまいります。また、生活困窮の連鎖を断ち切るため、子どもの学習支援や社会生活・日常生活能力の向上等、個々の状況に応じた自立支援の充実を推進してまいります。	48,186
⑭	宅配ボックス設置補助	—	宅配ボックス設置については、再配達抑制につながり、ドライバーの労働時間の短縮やCO2排出の削減に効果があるものと認識しております。今後も国や県の動向や近隣自治体の状況などを注視し、必要な支援に努めてまいります。	—
⑮	デジタルサイネージを活用するなど市の情報発信の充実・強化	広報推進事業	市役所のまちのリビング・エレベーターホール・まちなか広場や、駅西口の物産展示場に設置したデジタルサイネージを活用し、関係各課と情報を共有しながら、タイムリーで効果的な情報発信に努めてまいります。	82,580
⑯	若者参加型SNS広報戦略の推進	広報推進事業	各SNSの特性を生かしながら、おすすめスポットの紹介や市独自の取り組みなどの投稿を行ってまいります。さらに共感をいただいた人からの自発的な発信も呼びかけ、若者へも届くよう、SNSの充実に努めてまいります。	82,580 再掲

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
9	農業政策の充実を求めます。			
①	援農チャレンジ制度と担い手育成塾との連携強化	①援農チャレンジ（農業ヘルパー）制度 ②新規就農総合支援事業	援農チャレンジ制度については、農家の方が求める求人ニーズの把握や制度周知に努め、農業ヘルパーへの登録と農作業の従事・体験の機会を促進していきます。 また、農業ヘルパー登録者も含め、新規に就農する意向のある方に対し、新規就農総合支援事業の活用など支援に努めていきます。	①— ②2,910
②	農地バンクを通じた実効性の向上	農地集積事業	地域計画に基づき、農地中間管理機構（農地バンク）の活用による農地の集積・集約化を進め、地域の中心経営体による営農の効率化を図ることにより、持続的な地域農業を推進していきます。	17,322
③	農道及び圃場整備の一層の推進	農地整備事業	ほ場整備を促進するとともに、ほ場整備により区画拡大となった農地の集約化と営農の効率化の効果をさら高めるための農道拡幅を進めていきます。	15,658
④	スマート農業・観光農業の更なる推進	—	春日部みどりのパーク共同事業体との連携を図るなど、常に新しい技術の把握に努め、本市に適したスマート農業を普及・推進していきます。 また、観光農園の魅力向上に向け、効果的な情報発信や産地の育成支援の取組を推進していきます。	—
⑤	農業用排水の浚渫の一層推進	①農業用揚・排水機場維持管理事業 ②用排水路整備事業 ③農地事務	地元からの要望を踏まえ、農作物への影響や緊急性などを考慮したうえで、優先順位をつけ、揚・排水機場や用排水路の浚渫を実施していきます。 また、水路の泥上げなどを行う地域活動に対し、多面的機能支払交付金を活用し支援していきます。	①74,888 ②3,667 ③70,400
⑥	農産物直売所の増設推進	—	今後においても、農協や農業団体と連携を図り、農産物直売の場の創出など生産者と消費者とをつなぐ取組により、地産地消を推進してまいります。	—
⑦	農業後継者・若手農家の育成支援	新規就農総合支援事業	明日の農業担い手育成塾、就農準備資金農業、経営継承・発展等支援事業などにより、今後においても関係機関と連携を図り、次世代を担う農業者の育成や支援に努めていきます。	2,910 再掲

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
10	商業活性化・観光施策の充実を求めます。			
①	プレミアム付き地域商品券を継続事業に	—	今後も商品券発行事業については、大きな財源を必要とすることから、国の動向や市内経済の状況を注視し、実施について判断してまいります。	—
②	企業版ふるさと納税のさらなる推進	シティセールス推進事業	本市の地域再生計画に基づく取組について、市公式ホームページ等で情報発信を行っているほか、令和5年度から、企業とのマッチング支援について業務委託を行っております。また、わかりやすいパンフレットを作成し企業へ説明を行うなど、今後もより一層の周知と活用を図ってまいります。	89,219
③	空き店舗の活用及び商店街の活性化支援	①かすかベンチャー応援補助金 ②商店街活性化推進事業費補助金	①創業希望者への支援、空き店舗問題の解消及び地域の活性化を図るため、市内の空き店舗を活用して創業する人に、その経費の一部を補助してまいります。 ②商店街の環境整備と活性化を図るため、各種共同事業を実施する商店街等に対してその経費の一部を補助してまいります。	①4,000 ②16,320
④	春バスの観光資源化	観光振興事業	観光客向けのパンフレット「春日部クレヨンしんちゃんおでかけMAP」の中で、クレヨンしんちゃんラッピングバスを紹介するなど、観光資源として春バスをPRしております。今後も、他自治体の事例等の調査や関係課との調整等を行いながら、観光資源としての春バスの活用について検討してまいります。	28,103
		コミュニティバス運行事業	公共交通の利用促進や、本市のPR、商業の活性化等を図るため、引き続き、「クレヨンしんちゃん」のラッピングバスの運行を行ってまいります。また、バス車内においてしんちゃんの声で案内をする取り組みを行っています。	65,573 再掲
⑤	デジタル地域通貨の活用（自治会との連携も視野に）	—	デジタル地域通貨の活用の期待される効果として、ボランティア活動などによる地域ポイントを付与することで市内経済や地域コミュニティの活性化に繋げることが可能であることなどがございます。一方で、デジタル地域通貨は運用における課題もありますことから、引き続き検討してまいります。	—
⑥	観光資源のネットワーク化	観光振興事業	クレヨンしんちゃんを目的とした来街者に、観光案内所としての機能を持つ「ぶらっとかすかべ」や観光拠点「ハルカイト」において市のイベントや観光資源を案内すると共に、移動手段としてはレンタサイクルや民間シェアサイクルの活用を促すことで、観光のネットワーク化に繋げてまいります。	28,103 再掲
⑦	国道16号線にある大風看板の塗り替え	大風文化交流センター運営事業	劣化状況の把握や点検を継続して行い、修繕の必要性や緊急性を判断してまいります。	41,670

2026年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和8年度 当初予算 (単位：千円)
11	女性管理職の登用推進	—	令和2年度に、春日部市女性職員の活躍推進に関する特定事業主行動計画（後期計画）を策定し、本計画に基づき、女性職員が働きやすい職場づくりの推進に努めております。また、令和3年度に、男女幅広く多様な人材を管理職に登用するため、昇任制度について、試験を廃止し、人事評価等を活用した選考としました。今後も、個人の能力や適性に応じた人材育成に努めるとともに、女性管理職の登用にも配慮した適材適所の人事配置の推進、さらには、ワークライフバランスの推進等に取り組んでまいります。	—
12	デジタル地域通貨事業とマイナンバーカードの活用	—	マイナンバーカードの活用手法について情報収集を行いながら、活用について検討してまいります。	—
		—	他市の活用事例を参考に、マイナンバーカードの活用方法について調査・研究してまいります。	—
14	東埼玉道路の早期完遂と周辺工業団地等との接続	街路整備事務 (東埼玉道路建設促進期成同盟会負担金)	現在整備が進められている東埼玉道路の更なる整備促進に向けて、今後についても、国会議員、沿線自治体や商工団体、自治会と連携を図りながら、1日も早い道路の開通を目指して、活動してまいります。	18,297
15	(仮称) 銚子口橋の架設で藤塚橋やゆりのき橋の渋滞解消	—	銚子口橋については、越谷市と協議を重ね、豊野地区のまちづくりの動向や国の補助制度を注視しながら総合的に方向性を判断してまいります。 ゆりのき橋については、ユリノキ通りの交通量が非常に多く、ゆりのき橋交差点において局所的な渋滞が発生しています。これまでの対策として、「右折通り抜けの抑制看板の設置」や「県道春日部松伏線の交差点右折信号の時間延長」を行いました。渋滞の原因として、ゆりのき橋左岸側の交差点において、右折車両の円滑な処理ができないことが渋滞の要因の一つとして挙げられます。 渋滞対策として、「ゆりのき橋に右折帯を設置する案」、「ゆりのき橋交差点に設置している信号を時差式信号へ変更する案」、「県道春日部松伏線とユリノキ通りの交差点の信号において、青信号の時間延長と右折信号の時間をさらに延長する案」について、構造の検討や埼玉県公安委員会との協議を行いました。いずれの案も、構造上の問題や交通上の問題などの課題があることから、現時点において対応は難しい状況となっています。今後も渋滞の緩和に向けて、検討を行うとともに関係部署と協議を進めてまいります。	—
16	職員の「週休3日制」・勤務間インターバル制度の導入・開庁時間の短縮	—	ライフスタイルの多様化に沿った新たな働き方、職員の健康及び福祉の確保に向けた取組であると考えており、県や他自治体の動向を注視してまいります。	—